

## 9月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日に年4回の定例会号、1月1日に新年号を発行（新聞折り込み）しています。  
次回の市川市議会は12月定例会が開かれる予定です（定例会の開会予定日は6面に掲載）。

# いちかわ

# 市議会だより

2012年（平成24年）第203号

11月10日（土）

発行 市川市議会  
編集 議会運営委員会  
市川市八幡 1-1-1 ☎334-1111  
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/154100002.html>

## 9月定例会

# 1%支援条例の一部改正案を可決

## 平成23年度決算を認定



今年で8年目を迎える「1%支援制度」のPRキャンペーン

### 決算審査特別委員会

|       |         |
|-------|---------|
| 委員長   | 大場 諭    |
| 副委員長  | かつまた 竜大 |
| 委員    |         |
| 西村 敦  | 増田 好秀   |
| 佐藤 幸則 | 越川 雅史   |
| 谷藤 利子 | 守屋 貴子   |
| 井上 義勝 | 岩井 清郎   |

市議会は、平成24年9月定例会を9月7日から10月5日まで開催しました。

9月定例会では、市長から、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例（1%支援条例）の一部改正、市川市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定、市川市急病診療・ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正、ポリオ予防接種委託料（不活化ワクチン）や交通安全施設改修工事費など約4億776万円を補正する平成24年度市川市一般会計補正予算（第1号）などの議案15件と報告8件が提出され、議員からは「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書案などの発議10件が提出されました。その他、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての諮問、請願の審議、32人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の15件を原案通り可決した他、議員提出の意見書案7件を可決、3件を否決しました。

また、決算審査特別委員会で審査した平成23年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を賛成多数で認定しました。（一般質問は25面、決算審査、審議結果一覧は6面に掲載）。

### ◆主な議案

○市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例（1%支援条例）の一部改正について

市民活動団体支援制度を不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与する活動を行うことを主たる目的とする団体を支援する制度とするため、市民活動団体の定義を見直すとともに、支援対象事業を明確にするためのものです。

#### 【主な質疑】

「支援対象団体が行う事業の『主たる目的』とは、何ををもって判断するのか。」との質疑に対し、「『主たる目的』については、団体が活動するための事業費や、その事業に関わった団体側の従事者数、その活動によって利益を受ける市民の数や範囲等を総合的に勘案して判断していきたいと考えている。」との答弁がなされました。また、「この1%支援制度も8年目を迎え、大きく制度を見直したほうがよいとの声も聞かれており、e-モニターでのアンケートも実施している。この際、大きく改正すべきであったのではないかと思うが、今回の改正は何を反映しているのか。」との質疑に対し、「これまで課題となっていた『親睦的団体』や『趣味的団体』については今回の改正で対応することとなる。また、毎年同じ事業を提案する団体に対する支援に関しては、アンケートの結果、公益性が高く、不特定多数の市民の利益につながるのであれば賛成するとの回答が多数であったことから、課題として検討してきたものの、今回は継続と判断した。」との答弁がなされました。

○市川市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について

職員の資質の向上に資するため、その申請に基づく大学等における課程の履修又は国際貢献活動のための休業の制度を設けるものです。

○平成24年度市川市一般会計補正予算（第1号）

一般会計補正予算案は、ポリオ予防接種委託料（不活化ワクチン）や交通安全施設改修工事費など4億775万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ134.2億775万8千円とするものです。

### ◆認定

○平成23年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について

平成23年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定を求めるものです。

決算審査特別委員会では、まず、本決算に対する監査委員の審査について、監査委員の出席を求めて質疑を行いました。また、決算書の審査に当たり、歳入では、収入未済額・不納欠損額の主なもの、歳出では不用品、流用・充用の主なものについて説明を求め、疑義をたすことにより、議決どおりの執行であったか、また、どのような行政効果があったか等を中心に質疑を行いました。

### ◆報告

9月定例会では、健全化判断比率、資金不足比率の他、専決処分の報告5件などの報告8件がなされました。